

「平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果についての学長コメント」

国立大学法人大分大学長

北野正剛

本法人を始めとする各国立大学法人が6月末に提出した「平成25年度業務実績報告」に対する評価を審議するための国立大学法人評価委員会総会が、11月5日（水）に開催されました。同総会での審議・決定を受けて、同日文部科学省の国立大学法人評価委員会委員長から、本法人の評価結果について、別添資料のとおり通知がありましたのでご報告いたします。

本法人の評価結果（別添2）については、「4つの項目別評価」（「業務運営の改善及び効率化」、「財務内容の改善」、「自己点検・評価及び情報提供」、「その他業務運営（施設設備の整備・活用、安全管理等）」）の全てにおいて、「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」という評価を得ましたが、8月に附属病院においてUSBメモリの紛失が発覚したことについて、再発防止及び個人情報保護に関するリスクマネジメントに対する積極的な取組が望まれるとの課題が示されました。

このように、第2期中期目標期間の4年目である平成25年度実績の評価結果は、本法人にとって、ほぼ満足できる結果となりました。

今後も、中期計画の達成に向けて、毎年度の計画を着実に実施し、地域の「知の拠点」としての責務を果たせるよう、役員及び職員が一丸となって法人運営に取組んで参りますので、県民の皆様の御理解と御協力をお願いします。